

商店街に賑わいを

集合住宅など高専生研究発表

舞鶴高専建設システムなどの学生たちが15日、浜の商店街「ポポよ」で、商店街のテーマに、集合住宅をテーマに、

市民たちを前に研究発表をした。

研究活動は産学連携の1つとして舞鶴市からの委託で取り組んだ。4年生5人がゲストハウス、5年生と専攻科2年生の2人が集合住宅を発表した。

舞鶴市への観光客の大幅増で宿泊施設のニーズが高まっていることから、空き店舗を活用して日本の空間のデザインを取り入れ、1階にカフェやバー、2階以上に宿泊施設とする案を考えた。

商業地の現状や市民

のニーズなどを調査し、1階を店舗としその上に高齢者用の集合住宅を提案。交通弱者のお年寄りが買い物しやすい、八島公園と一帯となった住宅デザインとし、交流スペースも設けた。専攻科2年の白髭優さん(22)は「商業空間に賑わいを生み出せるような集合住宅を考えました」と話していた。



店舗付き集合住宅の模型を説明する学生(左)